

通天閣



所在地：大阪市浪速区恵美須東 1-18-6
建設年：1956年
構造・規模：S造、一部SRC造5階、地下1階
設計：内藤多仲、竹中工務店

現在の通天閣は、戦後大阪の復興の象徴と言えよう。初代の通天閣は1903年に開催された第5回内国勧業博覧会の跡地に建てられ、1943年の火災を機に解体されるまで、新世界のランドマークとして親しまれた。戦後に高度成長が始まると共に、通天閣復活の気運が高まり、1956年に2代目が誕生。名称こそ引き継いでいるが、下部が凱旋門、上部はエッフェル塔を思わせるデザインだった初代に対し、2代目は未来に伸びゆく工業主義的なイメージ。展望台の下のくびれや四方に突き出たトラスが、直線基調のシャープさを強調している。西洋がお手本だった時代の初代通天閣を懐古するのではなく、進取の伝統を引き継ごうという姿勢が、戦後大阪の復興の精神を表している。(倉方俊輔)